

# レ ス ス プ ラ ン

6 学年 第 3 回 (相互依存関係認識①)

テーマ：「そんなの不公平！」



授業の目標：

- (1) 世界各国には、「物質的豊かさ」に関して大きな格差がある現実を知る
- (2) 「持てる者」と「持てない者」の両者の心情に迫る
- (3) 「豊かさ」の格差に対して自分ができることを考える

用意するもの：

ALT

担当教師

- 白地図(グループ分)
- シール(青・赤の二色)
- 「これホント？」○×質問シート
- 世界各地の人口と所有資本に関する情報カード

- 氷砂糖、キャンディ等一袋にたくさん入ったお菓子
- ※手で触っても、差し障りがないもの

時間	活 動	気づいた点
1分	ALTと担当教師のあいさつの後、担当教師は本時は「豊かさ」について考えてみようと言います。	
5分	子どもたちは6人組グループに分かれて座り、ALTは各グループに箱に入ったお菓子を渡す(中身の量を大きく異なるようにしておく)。各グループはそれを食べ、グループ毎の量の格差に気づく。その後、どんな気持ちになったかを各グループで意見を出し合う。	
15分	ALTは各グループに白地図とシールを分ける。担当教師は子どもたちに、人口と富の配分に関する情報カードに従って地図にシールを貼るよう指示する。地図が完成したら、その地図を見て、どんなことが分かるか話し合い、意見を出し合う。ALTは国々の格差を表す棒グラフ・円グラフを示す。	
10分	「これホント？○×クイズ」をする。ALTは、世界の生活基準についての事実や質問を読み、子どもたちはそれが正しいかどうか○×で答える。そして、それぞれの問いに対して話し合い、どのような状況であるのかを推測する。	
5分	ALTは、写真等を使って発展途上国の生活を紹介する。	
5分	担当教師は、最初に分けた不公平なお菓子の量をどうすれば良いかを子どもたちに尋ねたり、テレビや学校や家で、何ももたない人たちのこと聞いたことがあるかを尋ねたりし、自分に何ができるか問題提起する。	
4分	担当教師とALTは、常に地球市民としてお互いに協力していくことの大切さと、自分にできることはたくさんあることに触れ、本時をまとめる。(何か具体的に、自分たちにできる方法を話題にするのもよい。例えば、使用済みテレホンカード1枚で3錠の虫下し薬を子どもに与えられる。「ジョイセフ」より)	

## 人口と持っているお金の割合比較表の正解

お金を持っている

(お金持ち)	20%
	20%
	20%
	20%
	20%
(貧しい)	20%

お金をもっていない

